

**令和5年第1回 岩沼市議会定例会
一般質問(会派代表)通告一覧表**

質問 順番	議席 番号	議員氏名	質問事項及びその要旨	答弁者
1	7	自由民主党・ 政策フォーラム 高橋光孝	<p>令和5年度の市政運営について</p> <p>1. 新年度予算の重点施策・特徴について</p> <p>(1) 本市では、目指すべき将来都市像として、未来構想に「iがあふれる“健幸”先進都市 いわぬま」を掲げており、令和5年度は総合計画の最終年度となるが、新年度予算の財政状況と目玉となる具体的な重点施策にはどのようなものがあるのか伺う。</p> <p>(2) 次期総合戦略策定に向けて、加速させていこうと考えている施策を伺う。</p> <p>2. 人口対策について</p> <p>(1) 人口減少が予測されている中で、市の総合計画、国土利用計画、仙塩広域都市計画などには、人口を増加させるような計画は一切載っていない。市は人口増加とは言ってこなかったが、人口減少を最小限に食い止める政策を行っていくのか、それとも人口増加政策を取っていこうとするのか伺う。</p> <p>(2) 日本全体が人口減少傾向になる中で、特に東北地方は著しい減少が予測される。自治体間での競争に勝ち抜かなければならない中、本市の政治力、行政の団結力、職員の力量が問われるが、大丈夫なのか。</p> <p>(3) 新たな宅地の開発は、県が事前に仙塩広域都市計画で認めていなければできない。来年の改定に載せられなければ、大規模な開発は早くても7年以上先になるが、宅地開発は早急に行うのか伺う。</p> <p>(4) 今後も増加傾向にある空き家の対策について、具体策を伺う。</p> <p>(5) 岩沼駅周辺の活性化は、にぎわいのあるまちとして人口対策にも一躍担うと思うが、駅周辺の開発や活性化対策は行うのか伺う。</p> <p>3. 広報戦略について</p> <p>(1) 広報といっても移住や観光（インバウンドや様々なツーリズム）、ふるさと納税の寄付額増加など目的によって様々な手法があるが、本市の広報の目的は何か伺う。</p> <p>(2) 広報の体制について伺う。</p>	市長

<p>(続)</p>	<p>7</p>	<p>自由民主党・ 政策フォーラム 高橋光孝</p>	<p>(3) 広報にはセンスやデザインなど専門性が必要とされる。経験がないとおしゃれでセンスのいい広報は難しいのではないかと考えるが、この体制で大丈夫なのか伺う。</p> <p>(4) シティプロモーション推進事業費予算が300万円となっている。この予算額に本気度が見えない気がするが、少なすぎるのではないかと伺う。</p> <p>4. 行政改革の目的と経費削減について</p> <p>(1) 今回の行政改革の目的は何か伺う。</p> <p>(2) 効率化で労働生産性は上がるのか。</p> <p>(3) 職員（正職約300名、任用職員など約300名）がこれだけいても足りないのは問題があるのではないかと伺う。</p> <p>(4) 行政改革で予算はどの程度削減できる見込みなのか伺う。</p> <p>5. 組織改編と新年度の人事について</p> <p>(1) 組織改編の目的を伺う。</p> <p>(2) 人事・部署の異動は、本人の希望を取っているのか、また希望を考慮・優先しているのか伺う。</p> <p>(3) 年功序列、定期異動がいまだに多い中で、今後、若い幹部職員やその道のプロ的な職員を育てる考えはないのか伺う。</p> <p>6. ゼロカーボンシティと脱炭素への取組について</p> <p>(1) ゼロカーボンシティ宣言後の取組について伺う。</p> <p>(2) 少なくとも公共施設は全て再生可能エネルギーを主力電源とすべきだと思うが、取組を加速化できないのか伺う。</p> <p>(3) 再生可能エネルギーの地産地消として、市として風力発電や太陽光発電に取り組み、市内に供給するべきではないかと伺う。</p> <p>(4) ゼロカーボンシティの取組を加速させるために環境省が勧める脱炭素先行地域となり、国の手厚い支援の下でゼロカーボンシティを目指し、仙台国際空港や臨空工業団地、新しい宅地開発地域などの脱炭素化支援をすべきではないかと伺う。</p> <p>7. 子育て、社会福祉について</p> <p>(1) 第2子の保育料の無償化に係る予算が新年度に計上されていないが、なぜか。公約違反ではないかと伺う。</p> <p>(2) 給食費や保育料の無償化など、何でも無償とい</p>	<p>市長</p>
------------	----------	------------------------------------	---	-----------

<p>(続)</p>	<p>1 4</p>	<p>公明党 長 田 忠 広</p>	<p>う。</p> <p>③ 今後、岩沼市社会福祉協議会に移行するに当たって、地域福祉推進員との役割分担をどのようにしていくか伺う。</p> <p>6. 基本目標3「困りごとをつなぐ支援づくり」について</p> <p>(1) 包括的支援体制の構築から重層的支援体制について</p> <p>① 令和3年9月議会と12月議会、令和4年7月議会で重層的支援体制について質問した。令和4年7月議会での答弁で「制度や内容を精査しながら、検討を進めていきたいと考えております。」と述べられたが、重層的支援体制づくりの進捗状況を伺う。</p> <p>② 岩沼市社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカー（CSW）との連携をどのように進めていくのか伺う。</p> <p>③ これまでは、一般財源補助金を活用し、社会福祉協議会と連携していた。国の重層的支援体制整備事業交付金を活用して対応してはどうか伺う。</p> <p>7. 基本目標4「いつでも安心できる地域づくり」について</p> <p>(1) 地域福祉拠点施設の運営について</p> <p>① 燃料費の高騰は、集会所の維持管理においても大きな影響を及ぼしている。集会所の電気料金については、現在は町内会が全額負担しているが、電気料金の値上がり相当分の補助制度を新たに設けてはどうか伺う。</p> <p>② 集会所のガス・灯油代については、現在は町内会が全額負担している。集会所のガス・灯油代の値上がり相当分について補助してはどうか伺う。</p> <p>(2) 防災・防犯対策の推進について</p> <p>① 避難行動要支援者の避難支援体制について</p> <p>ア 避難行動要支援者名簿登録者と個別計画策定済の数を伺う。</p> <p>イ 令和4年9月議会で避難行動要支援者名簿登録の要件について質問した。現在の要件について伺う。</p> <p>ウ 令和4年9月議会で「策定体制を考えてい</p>	<p>市 長 教育長</p>
------------	------------	------------------------	--	--------------------

(続)	14	公明党 長 田 忠 広	<p>きたい」との答弁があった。今般、組織改編を行うが、福祉部門（社会福祉課・介護福祉課）の体制づくりはどのようになっているか伺う。</p> <p>エ 個別避難計画策定を進めるに当たり、高齢者のケアマネージャー、障害者の相談支援員など福祉関係者との連携が必要だがどのようにしてきたか伺う。</p> <p>オ 個別避難計画策定に当たって最も大事なのが支援者である。しかし、支援者になる方が少ない現状にある。そこで、個別避難計画の必要性と支援者の役割について市民に知らせる対策をしてはどうか伺う。</p> <p>② 福祉避難所について</p> <p>ア 協定を締結している施設数とそれぞれの施設の受入れ人数を伺う。</p> <p>イ 開設に当たっての判断基準を伺う。</p> <p>ウ 福祉避難所の協定を締結した運営法人との意見交換を提案したが、進捗状況を伺う。</p> <p>エ 令和3年12月議会と令和4年9月議会で「福祉避難所支援員の育成・登録制度」について質問した。令和4年9月議会では「福祉避難所、またその支援員等の必要性について研究してまいりたい」との答弁があった。そこで、改めて「福祉避難所支援員の育成・登録に関する制度」を設けてはどうか伺う。</p>	市長 教育長
-----	----	----------------	---	-----------